

夜高行燈 砺波の田まつり

◆ よたかあんどん
となみのたまつり ◆

富山県砺波地方には、古くから夜高まつりが開催されております。中でも一番古いものは、南砺市福野の夜高であり、慶安の昔、神明社の創設にあたって人びとが、手に手に行燈を持って伊勢神宮の御分霊を出迎えたことに由来し、およそ三百年の歴史と伝統を持っており、春の祭典となっております。

しかし、砺波市（砺波・庄川）、小矢部市津沢などでは、田まつり行事となっており、六月に行われます。夜高行燈の作り方は同じですが、大きさや突き合せの方法は、その町によってそれぞれ違っており、砺波地方の春の風物詩となっています。